

# 観光文化スポーツ推進特別委員会

日時 令和5年12月18日（月）  
午前10時  
場所 第二委員会室

## ○ 議 題

### 《観光課》

- 1 主要観光入込客数及び宿泊者数について
- 2 八戸三社大祭山車組への運営に関するアンケート報告について

### 《文化創造推進課》

- 3 八戸ブックセンター書棚陳列の変更について

### 《スポーツ振興課》

- 4 第80回国民スポーツ大会及び第25回全国障害者スポーツ大会等における八戸市開催競技の概要について

### 《長根屋内スケート場》

- 5 長根屋内スケート場の取組について

## 主要観光入込客数及び宿泊者数について

## 1 主要観光入込客数

	年度	上半期(4月～9月)合計		下半期(10月～3月)合計		合計	
		客数	H30年度比	客数	H30年度比	客数	H30年度比
八食センター	H30	1,451,035	—	1,142,491	—	2,593,526	—
	H31/R元	1,376,986	94.9%	1,058,611	92.7%	2,435,597	93.9%
	R2	778,261	53.6%	802,132	70.2%	1,580,393	60.9%
	R3	817,082	56.3%	883,372	77.3%	1,700,454	65.6%
	R4	1,127,340	77.7%	1,063,842	93.1%	2,191,182	84.5%
	R5	<b>1,299,858</b>	<b>89.6%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>1,299,858</b>	<b>50.1%</b>
はっち	H30	453,917	—	420,453	—	874,370	—
	H31/R元	436,537	96.2%	379,017	90.1%	815,554	93.3%
	R2	252,169	55.6%	300,390	71.4%	552,559	63.2%
	R3	266,697	58.8%	220,381	52.4%	487,078	55.7%
	R4	277,303	61.1%	302,136	71.9%	579,439	66.3%
	R5	<b>315,685</b>	<b>69.5%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>315,685</b>	<b>36.1%</b>
種差海岸 インフォ メーション センター	H30	73,356	—	26,482	—	99,838	—
	H31/R元	72,266	98.5%	24,804	93.7%	97,070	97.2%
	R2	41,620	56.7%	25,695	97.0%	67,315	67.4%
	R3	39,901	54.4%	18,370	69.4%	58,271	58.4%
	R4	58,081	79.2%	29,975	113.2%	88,056	88.2%
	R5	<b>69,177</b>	<b>94.3%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>69,177</b>	<b>69.3%</b>
マリエント	H30	47,454	—	23,208	—	70,662	—
	H31/R元	42,967	90.5%	21,708	93.5%	64,675	91.5%
	R2	24,171	50.9%	20,135	86.8%	44,306	62.7%
	R3	27,364	57.7%	16,562	71.4%	43,926	62.2%
	R4	35,395	74.6%	22,277	96.0%	57,672	81.6%
	R5	<b>37,331</b>	<b>78.7%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>37,331</b>	<b>52.8%</b>
観光 案内所	H30	28,833	—	25,235	—	54,068	—
	H31/R元	31,941	110.8%	26,501	105.0%	58,442	108.1%
	R2	10,604	36.8%	16,137	63.9%	26,741	49.5%
	R3	12,186	42.3%	11,459	45.4%	23,645	43.7%
	R4	16,785	58.2%	17,666	70.0%	34,451	63.7%
	R5	<b>24,469</b>	<b>84.9%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>24,469</b>	<b>45.3%</b>
5地点合計	H30	2,054,595	—	1,637,869	—	3,692,464	—
	H31/R元	1,960,697	95.4%	1,510,641	92.2%	3,471,338	94.0%
	R2	1,106,825	53.9%	1,164,489	71.1%	2,271,314	61.5%
	R3	1,163,230	56.6%	1,150,144	70.2%	2,313,374	62.7%
	R4	1,514,904	73.7%	1,435,896	87.7%	2,950,800	79.9%
	R5	<b>1,746,520</b>	<b>85.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>1,746,520</b>	<b>47.3%</b>

## 2 宿泊者数(VISITはちのへ調べ 市内主要22施設 ※変動あり)

	年度	上半期(4月～9月)合計		下半期(10月～3月)合計		合計	
		客数	H30年度比	客数	H30年度比	客数	H30年度比
延べ 宿泊者数	H30	438,505	—	423,916	—	862,421	—
	H31/R元	458,407	104.5%	368,032	86.8%	826,439	95.8%
	R2	258,841	59.0%	324,942	76.7%	583,783	67.7%
	R3	315,279	71.9%	335,872	79.2%	651,151	75.5%
	R4	409,801	93.5%	382,124	90.1%	791,925	91.8%
	R5	<b>447,065</b>	<b>102.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>447,065</b>	<b>51.8%</b>
うち 外国人	H30	14,124	—	9,512	—	23,636	—
	H31/R元	14,652	103.7%	9,728	102.3%	24,380	103.1%
	R2	612	4.3%	3,111	32.7%	3,723	15.8%
	R3	2,202	15.6%	808	8.5%	3,010	12.7%
	R4	2,554	18.1%	5,974	62.8%	8,528	36.1%
	R5	<b>13,900</b>	<b>98.4%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>13,900</b>	<b>58.8%</b>

## 八戸三社大祭山車組への運営に関するアンケート報告について

八戸三社大祭における人材確保や山車小屋の問題などについて現状を把握するため、山車組を対象とするアンケートを八戸三社大祭運営委員会において実施したのでその内容を報告するもの。

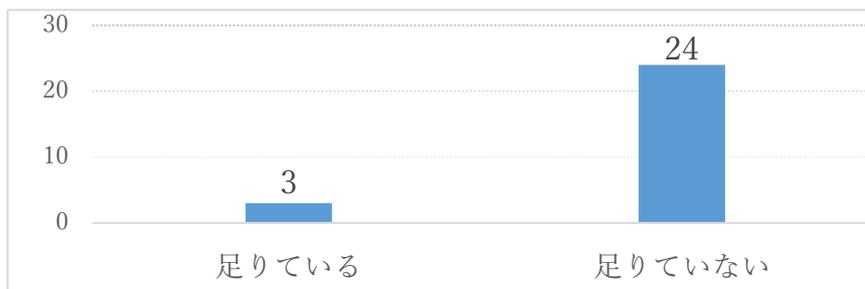
### 1 アンケートの集計結果について（回答山車組27（回答率100%））

#### （1）人材確保について

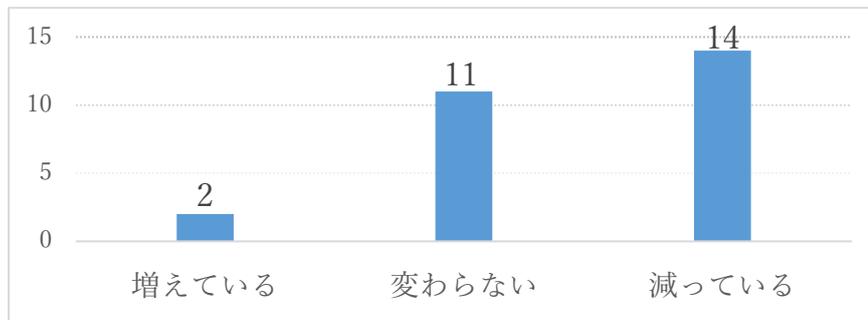
##### ①山車制作者について

ア：山車制作スタッフの総人数 平均16人（最小4人・最大45人）  
平均年齢 平均46.6歳（最小35歳・最大56歳）

イ：上記人数で足りているか（単位：組）



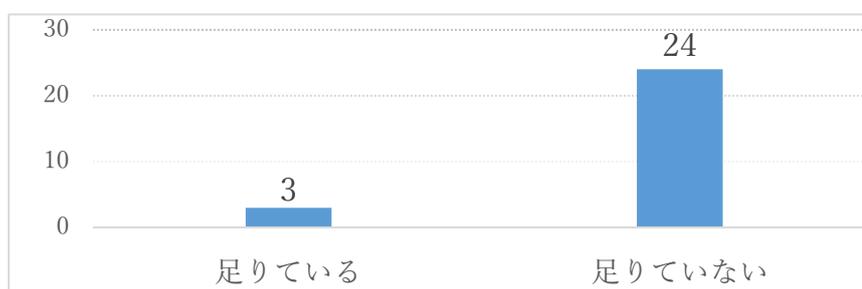
ウ：前回の通常開催時（令和元年度）からの増減（単位：組）



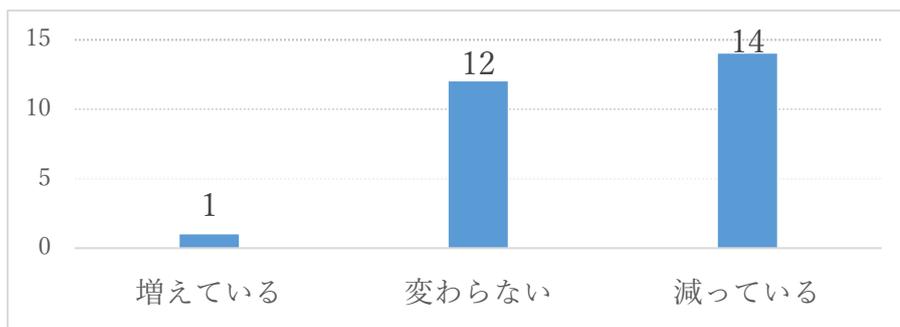
##### ②運行スタッフについて 【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

ア：運行スタッフの総人数 平均16人（最小5人・最大45人）  
平均年齢 平均年齢43.7歳（最小30歳・最大55歳）

イ：上記人数で足りているか（単位：組）



ウ:前回の通常開催時（令和元年度）からの増減 (単位:組)



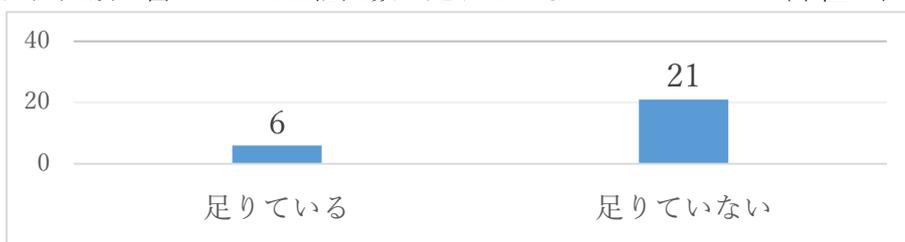
③囃子手について【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

ア:囃子手の総人数 平均 36 人(最小 13 人・最大 67 人)

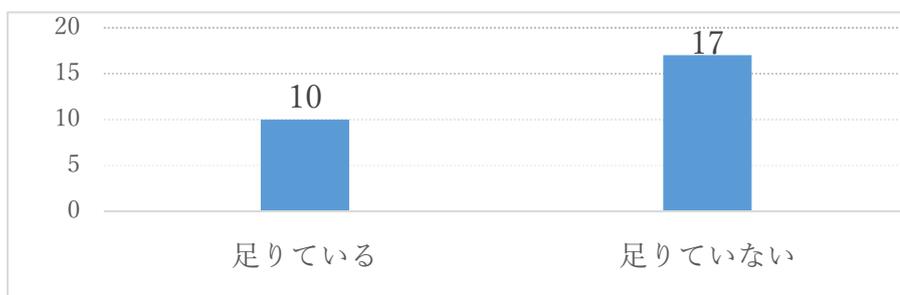
【内訳:大太鼓・笛平均 16 人(最小 3 人・最大 42 人)】

【内訳:小太鼓 平均 21 人(最小 10 人・最大 40 人)】

イ:大太鼓・笛について上記人数で足りているか (単位:組)

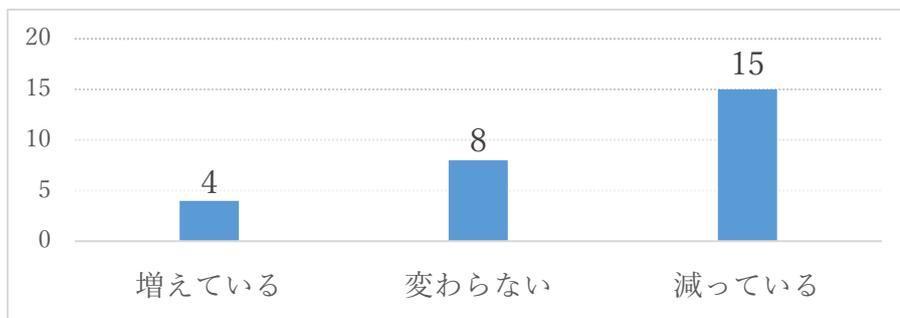


ウ:小太鼓について上記人数で足りているか (単位:組)



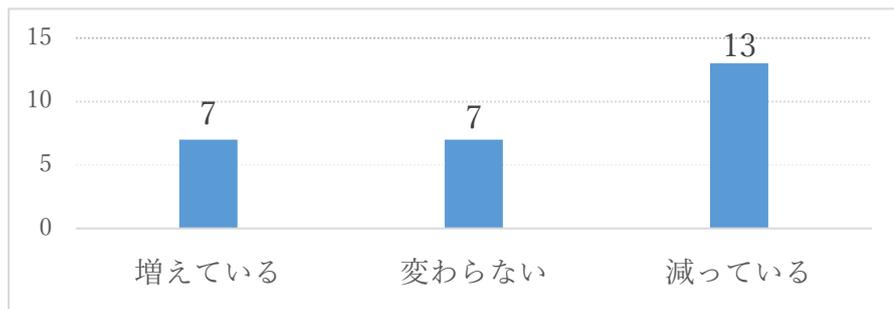
エ:大太鼓・笛について前回の通常開催時（令和元年度）からの増減

(単位:組)



オ:小太鼓について前回の通常開催時（令和元年度）からの増減

(単位:組)

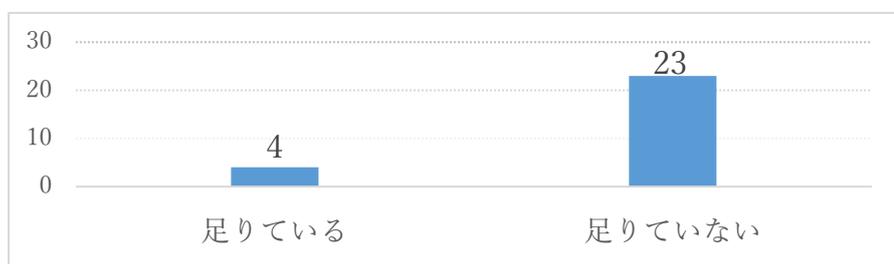


④引き子について【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

ア:引き子の総人数 平均72人(最小20人・最大150人)

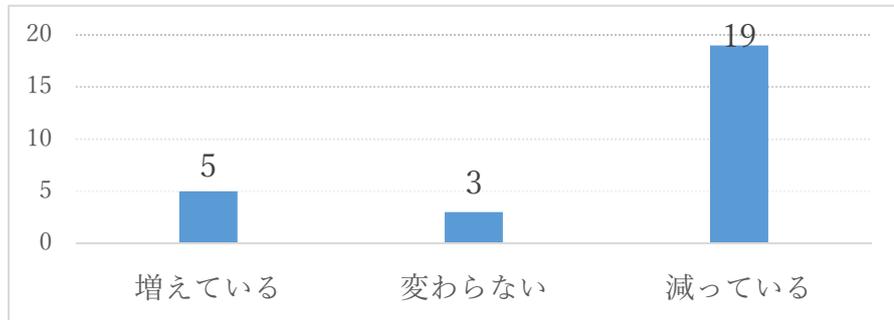
イ:上記人数で足りているか

(単位:組)



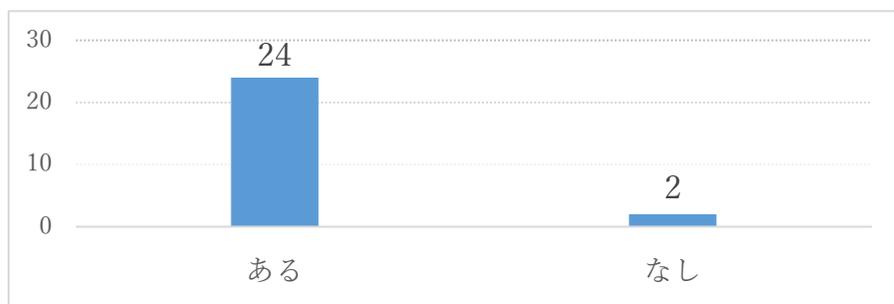
ウ:前回の通常開催時（令和元年度）からの増減

(単位:組)



⑤山車組継続への不安について

(単位:組)



※1組が無回答

○不安内容の主なもの（自由記述）

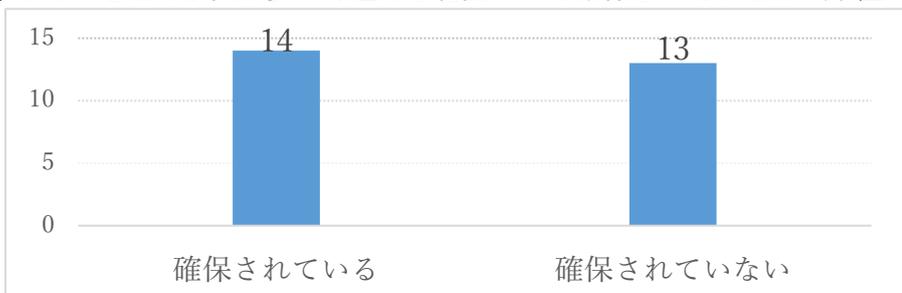
- ・制作・運行・運営のスタッフ不足。
- ・少子化による小太鼓や引き子の人員不足。
- ・学校・部活など日程調整の協力が無い。
- ・材料費の高騰。
- ・4年の間にスポンサーが離れたこと。

⑥山車組継続の不安を解決するための対策の主なもの（自由記述）

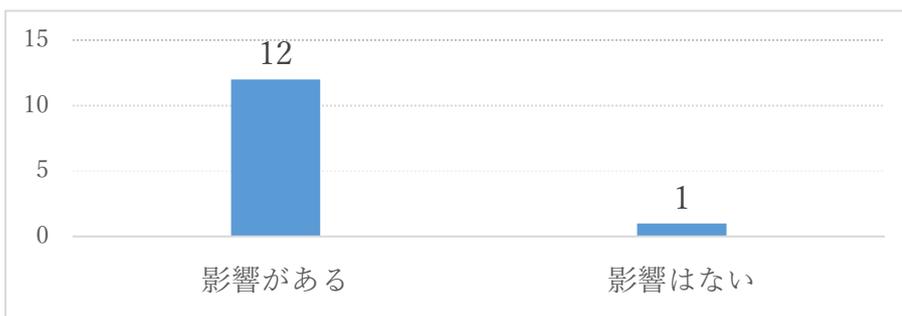
- ・まずは引き子、お囃子に参加してもらう。（体験）
- ・企業、市内学校に対して日程調整協力依頼を、市や運営委員会がやる。
- ・教育委員会から学校側に強力に参加するよう呼びかけをする。
- ・人材確保に SNS の使用する。
- ・資金集め（新規のスポンサー探し等）

(2) 山車小屋について

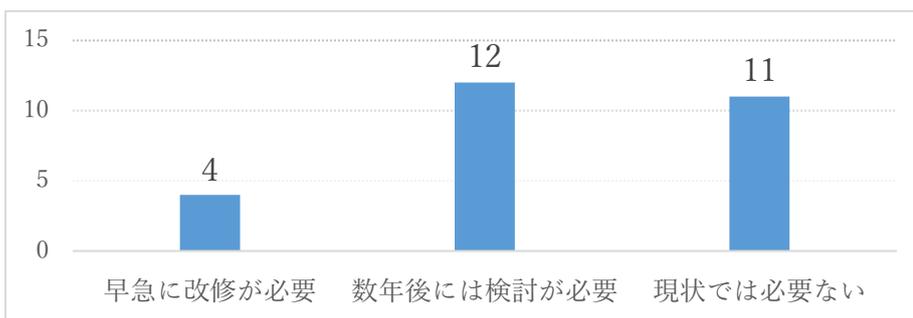
①町内（地元の子供が歩いて通える範囲内）で確保されているか（単位：組）



②町内で確保できていない場合、山車制作や囃子手等の人材を十分に確保できないなどのマイナスの影響がある（単位：組）



③山車小屋の改修の必要性について（単位：組）



#### ④山車小屋についての問題点の主なもの（自由記述）

- ・毎年、足場材で建てているので常設の小屋が欲しい。
- ・敷地が狭い。苦情は無いが近隣の住宅に迷惑をかけているのを感じる。
- ・土地・建屋が狭い。老朽化による近隣被害が懸念される。（火災、飛散物等）
- ・現在使用している場所は中心部から離れており、時間がかかる。交通量も多いため移送のリスクが高いため、可能ならば中心部に近い場所に山車小屋を移転したい。
- ・山車小屋用地の立ち退きを求められているが、移転に伴う資金も場所も見つからない状況。山車小屋問題にはもっと行政が中に入り動いていかないと解決できないのではないかと考えている。

## 2 アンケート結果を受けての課題の整理

### (1) 人材確保について

①山車制作者、運行スタッフ、囃子手、引き子などの参加者数についての調査結果は、いずれも参加者が足りていないという山車組が多かった。

○人材が不足していると回答した組数

- ・山車制作者（27組中24組）
- ・運行スタッフ（27組中24組）
- ・囃子手（27組中21組）
- ・引き子（27組中23組）

②山車制作者や運行スタッフなど、ある程度経験が必要な人材については、27組中24組の山車組が不足していると回答しており、特に3～4ヵ月にわたって山車の制作に携わる必要がある山車制作者については、人材確保のハードルが高いことが考えられる。

③コロナ禍前の令和元年度と今年度の参加者数を比べると、山車制作者・運行スタッフ・囃子手の参加者数は約半数の山車組が減少しており、増加した組は一部のみ。特に引き子については27組中19組の山車組で減少している。

○令和元年度と比べて減少したと回答した組数

- ・山車制作者（27組中14組）
- ・運行スタッフ（27組中14組）
- ・囃子手 大太鼓・笛（27組中15組）、小太鼓（27組中13組）
- ・引き子（27組中19組）

### (2) 山車小屋について

①27組中13組の山車組において地元の町内で山車小屋が確保できていない。

②町内で山車小屋が確保できていない山車組では、八戸市職員互助会を除くすべての組で人材の確保についてマイナスの影響があると考えている。（13組中12組）

③山車小屋の改修の必要性については27組中4組で早急に改修が必要、27組中12組が数年後には改修が必要だと考えている。

※「早急に改修が必要」と回答した4組のうち1組及び、「数年後に改修が必要」と回答した12組のうち3組は旧柏崎小跡地に建設中の山車展示制作施設に入居予定。

※山車小屋の改修の必要性について、改修の規模や内容についての詳細は確認していない。

## 八戸三社大祭山車組への運営に関するアンケート報告

○アンケートの集計結果について（回答山車組27（回答率100%））

### 1 人材確保について

#### （1）山車制作者について

- ①山車制作スタッフの総人数 平均16人（最小4人・最大45人）  
平均年齢 平均46.6歳（最小35歳・最大56歳）
- ②上記人数で足りているか？
  - ・足りている 3組・足りていない 24組（不足人数平均9人・最小5人・最大20人）
- ③前回の通常開催時（令和元年度）からの増減
  - ・増えている 2組・変わらない 11組・減っている 14組
- ④制作責任者の育成について
  - ・出来ている 8組・出来ていない 19組

#### （2）運行スタッフについて 【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

- ①運行スタッフの総人数 平均16人（最小5人・最大45人）  
平均年齢 平均年齢43.7歳（最小30歳・最大55歳）
- ②上記人数で足りているか
  - ・足りている 3組・足りていない 24組（不足人数平均9人・最小4人・最大30人）
- ③前回の通常開催時（令和元年度）からの増減
  - ・増えている 1組・変わらない 12組・減っている 14組
- ④運行責任者の育成について
  - ・出来ている 6組・出来ていない 21組

#### （3）囃子手について 【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

- ①囃子手の総人数 平均36人（最小13人・最大67人）
  - 【内訳：大太鼓・笛平均16人（最小3人・最大42人）】
  - 【内訳：小太鼓 平均21人（最小10人・最大40人）】
- ②大太鼓・笛について上記人数で足りているか
  - ・足りている 6組・足りていない 21組（不足人数平均9人・最小2人・最大20人）
- ③小太鼓について上記人数で足りているか
  - ・足りている 10組・足りていない 17組（不足人数平均12人・最小5人・最大30人）
- ④大太鼓・笛について前回の通常開催時（令和元年度）からの増減
  - ・増えている 4組・変わらない 8組・減っている 15組
- ⑤小太鼓について前回の通常開催時（令和元年度）からの増減
  - ・増えている 7組・変わらない 7組・減っている 13組

#### （4）引き子について 【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

- ①引き子の総人数 平均72人（最小20人・最大150人）
- ②上記人数で足りているか
  - ・足りている 4組・足りていない 23組（不足人数平均36人・最小20人・最大100人）

③前回の通常開催時（令和元年度）からの増減

- ・増えている 5組・変わらない 3組・減っている 19組

(5) 運営スタッフ（会計・総務等運営するうえで中心的な立場の方）について

①運営スタッフ（会計・総務等）の総人数 平均4人(最小1人・最大10人)

②運営スタッフ（会計・総務等）の総人数について上記人数で足りているか

- ・足りている 9組・足りていない 18組(不足人数平均4人・最小2人・最大6人)

③運営スタッフ（会計・総務等）の総人数について前回の通常開催時（令和元年度）からの増減

- ・増えている 1組・変わらない 22組・減っている 4組

④運営スタッフ（会計・総務等）の育成について

- ・出来ている 5組・出来ていない 22組

(6) 子供の参加者について【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

①子供の参加者数

- ・高校生の参加者（平均9人・最小2人・最大30人）
- ・中学生の参加者（平均8人・最小2人・最大15人）
- ・小学生参加者（平均31人・最小10人・最大91人）
- ・小学校入学前（平均10人・最小0人・最大35人）

②子供の参加者について前回の通常開催時（令和元年度）からの増減

- ・増えている 4組・変わらない 2組・減っている 21組

(7) 地区外からの参加者について【3日参加でも1人、半日参加でも1人でカウント】

①地区外（市外の他、県外なども含む）からの参加者について

平均13人(最小0人・最大50人)

②地区外からの参加者について前回の通常開催時（令和元年度）からの増減

- ・増えている 5組・変わらない 10組・減っている 10組

③地区外から幅広く参加者を受け入れることについて抵抗感はあるか？

- ・ある 1組 ・ない 24組 ・その他 2組

(8) 参加費等について

①浴衣購入の場合の費用について

平均13,944円(最小8,000円・最大28,000円)

②お祭りへの参加にあたり参加者から徴収している参加費用について

平均2,940円(最小1,000円・最大6,000円)

③上記参加費用について、参加者に対して使われる費用（保険料・食糧費等）として上記の額で足りているか？

- ・足りている 2組 ・足りていない 23組

(9) 人材確保のために山車組として実施した取り組み

- ・保育園、小学校、中学校、高校へ参加依頼。
- ・学習発表会への小太鼓貸出しと参加。
- ・小学校に出向き、おはやし体験を行った。

- ・他の学区への参加依頼
- ・チラシ作成。
- ・参加募集ポスター制作。
- ・スタッフが友人等に声掛け
- ・SNS、Instagram、facebook の使用。X に投稿。
- ・回覧板等により各種お知らせ

#### (10) 山車組継続への不安について

- ・ある 24 組 ・ない 2 組  
その内容（自由記述）
- ・制作・運行・運営のスタッフ不足。
- ・制作・運行・運営の後継者不足。
- ・町内に子供がいない。
- ・少子化により小太鼓が心配。引き子も同様。
- ・高齢化。
- ・若いスタッフが入ってこない。
- ・30 歳代以下の参加者が減少。
- ・学校・部活など日程調整の協力が無い。（祭りなど伝統継承のためには協力が不可欠ではないか。）
- ・平日開催による人離れ。
- ・連携不足（山車組内部）
- ・収入の減少。（町内寄付・門付け）
- ・材料費の高騰。
- ・4 年の間にスポンサーが離れたこと。
- ・山車小屋の確保。
- ・山車車体の老朽化
- ・山車制作、題名、絵を描けない。彫刻を彫る人が少ない。
- ・大人、子供を含めて、もっと歴史を勉強してもらうために勉強会を開く

#### (11) 山車組継続の不安を解決するための対策（自由記述）

- ・まずは引き子、お囃子に参加してもらう。（体験）
- ・小中高において、参加する山車組に振り分ける（提案）
- ・新たに中高生を中心としたスタッフを探す。
- ・企業、市内学校に対して日程調整協力依頼を、市や運営委員会がやる。
- ・三社大祭期間中、休校にする。（えんぶりは休校）
- ・教育委員会から学校側に強力に参加するよう呼びかけをして頂く。
- ・楽しく参加できるように雰囲気づくりをする。
- ・新入社員の参加を呼び掛ける。
- ・女子に協力を仰ぎ、友達や家族へ参加協力を呼び掛ける。
- ・人材確保に SNS の使用する。
- ・資金集め（新規のスポンサー探し等）

## 2 山車小屋について

### (1) 町内（地元の子供が歩いて通える範囲内）で確保されているか？

- ・確保されている 14 組 ・確保されていない 13 組

### (2) 町内で確保できていない場合、山車制作や囃子手等の人材を十分に確保できないなどのマイナスの影響があるか？

- ・影響がある 12 組 ・影響はない 1 組

### (3) 土地の使用期限について

- ・期限なし 12 組 ・期限あり 15 組（期限年数平均 2 年・最小 1 年・最大 5 年）  
（随時契約あり 9 組・なし 6 組）

### (4) 土地及び建屋の使用料（賃料）について

- ・土地建物合算平均 259,396 円（最小 0 円・最大 1,320,000 円）

### (5) 山車小屋の改修の必要性について

- ・早急に改修が必要 4 組 ・数年後には検討が必要 12 組 ・現状では必要ない 11 組

### (6) 防犯対策について

- ・なし 14 組 ・あり 13 組（機械警備・防犯カメラ・施錠・その他\_\_\_\_\_）

### (7) 防火対策について

- ・なし 3 組 ・あり 24 組（機械警備・責任者等を配置・消火器を設置・その他\_\_\_\_\_）

### (8) 山車小屋についての問題点（自由記述）

- ・毎年、足場材で建てているので常設の小屋が欲しい。
- ・まつりめぐ広場にでも小屋を置かせてほしい。台数を増やしてほしい。
- ・神明宮山車組だけ山車小屋の集う地がありません。不公平。安住の地が欲しい。未来を担う若者が離れる理由になります。
- ・敷地が狭い。苦情は無いが近隣の住宅に迷惑をかけているを感じる。
- ・近々、現在使用している山車小屋用地が使えなくなるため、新たな土地を探索中。
- ・小屋の老朽化。地主の今後の動きが心配。
- ・現在の場所は、会場から遠く山車の運搬が大変。前夜祭の雨の関係で指定時間に間に合わなかった。街路灯も無いためお囃子の練習も難しい。町内山車組ではないため、屯所や公民館等の使用も出来ず、場所の確保に時間を要した。今年借りた場所も来年使えるかは不明。
- ・土地・建屋が狭い。老朽化による近隣被害が懸念される（火災、飛散物等）雨漏り、簡易トイレ、女性子供に配慮できない。”
- ・地主の代替わり等で、いつ山車小屋用地からの立ち退きを求められてもおかしくない。市や県で全山車組用地を確保していただきたい。
- ・中心街から遠い立地のため、移送時間がかかるうえ、深夜・早朝の移送でないと道路使用許可が取れないため、移送の労力がかかる。祭り期間中に雨風を避けて山車を保

- 管する場所もない（現在は他の山車組の小屋に間借りさせてもらっている）
- ・現在使用している場所は中心部から離れており、牽引で 40 分程度時間がかかる。交通量も多いため移送のリスクが高いため、可能ならば中心部に近い場所に山車小屋を移転したい。
  - ・旧柏崎小跡地の山車小屋利用予定。小屋が狭いことが予想され、別途倉庫の確保が必要。引越し費用の捻出と保管場所の確保。作業スペース等の制約が懸念される。
  - ・要望：町内会寄付、門付けお祝い、山車貸付料は年々減少しており、今後増加が見込めないことから、山車小屋に係る費用を減額してほしい。

## 八戸ブックセンター書棚陳列の変更について

### 1 実施概要

令和5年10月に公表された「公共施設の有効利用に関する市民アンケート結果」において市民からの意見として出されていた「本をより身近に感じられるような品揃えの充実」に対して、八戸ブックセンターの幅広い利用を促すため、陳列テーマも含めた選書の内容を見直すもの。

### 2 変更内容 ※別紙の「配置図」を参照

#### ①子ども、子育て、暮らしのテーマ棚の新設【配置図：緑色】

##### (ア) 幼年童話等

- ・2つの内1つのハンモック周りに幼年童話を中心とした本を陳列し、子どもたちにハンモックで揺られながら本を読む楽しさを創出  
(変更前は「愛するということ」をテーマとした本を陳列)

##### (イ) 映画・アニメ等

- ・本の塔周りに映画やアニメ等を中心とした本を陳列  
(既存の什器を活用し、別箇所の棚に陳列していたものを移動して新設)

##### (ウ) 季節に合わせた絵本等

- ・季節やイベント等に合わせた絵本等を中心に平台も併用しながら陳列  
(変更前は文芸を中心にした本を陳列)

##### (エ) 子育て・暮らし・絵本・知育等

- ・上2段に子育てや暮らしに関する本（大人向け）を中心に陳列
- ・下3段に絵本や知育に関する本（子ども向け）を中心に陳列  
(変更前は映画やアニメ、各種テーマ棚として陳列)

#### ②本にまつわる雑貨・雑誌の充実【配置図：青色】

- ・オリジナル雑貨、ブックカバーやしおり等の本にまつわるグッズ、ギャラリー展関連グッズのほか、本にまつわる雑誌を中心に、平台も併用しながら陳列
- ・六日町側の歩道から館内が見られるウィンドウを活かして、興味を持ってもらい来館を促す

#### ③人文棚を中心に読書会ルームを囲む書棚の整理、集約【配置図：赤色】

- ・「経済」「まちづくり」「SDGs 関連」の本を集約し、人文棚と合わせて整理
- ・市教育委員会と連携し、STEAM教育に関連する本を配架
- ・教育機関や文化施設等と連携した「ひと棚」についても、テーマに合わせて人文棚などに分散

### 3 変更時期、今後の予定等

- ・棚陳列は令和5年12月初旬より順次変更しており、今後も来館者の意見などを踏まえながら、見直しの検討を行う。
- ・令和6年度からは、子どもや親子連れ向けのイベントも実施することで検討中。

参考：変更後の書棚の構成（下線部分は変更した内容）

■入門・基本図書棚（読書会ルームをとりかこむ本棚）

下記4つの大分類の分野に応じた最低限の小分類を設定し、文化的、学術的な広がりを俯瞰することができるよう、入門者向けの書籍、基本図書となる書籍を中心に幅広く選書、陳列。

教育委員会が取り組むSTEAM教育と関連する本も選書し、分かりやすく陳列。

自然	自然科学に関する書籍（「宇宙」「物理」など）
人文	人文・社会科学に関する書籍（「哲学・思想」「心理」など） ・「まちづくり」「経済」を集約
芸術	芸術に関する書籍（「美術」「音楽」など） ・「洋書の写真集」「アートブック」のほか近隣文化施設と関連付けた書籍などを混在
世界	世界各国の文学や歴史、風俗及び文化などに関する人文・社会科学に関する書籍 （「国名などの地域」） ・「旅」を関連付けながら、各地域の文化等をテーマとした書籍を混在

■その他

子ども・子育て・暮らしのテーマ棚

（幼年童話、図鑑、映画、アニメ、写真、季節に合わせた絵本、子育て・暮らし、絵本・知育等）

八戸の地域資源等に関するテーマ棚

（八戸地域の歴史、文化、産業などのほか、出身作家の書籍や八戸が取り上げられた書籍等）

普遍的テーマ棚（命の終わり）

（哲学、思想、宗教学、心理学などを中心に、広く「命の終わり」をテーマとした書籍）

SDGs コーナー （人文棚を中心に各目標に関連する棚に分散）

（関連する棚に分散し、インデックスを表示して陳列）

フェアテーマ棚

（季節や出来事、ゆかりのある作家・作品などを幅広く取り上げたテーマ棚）

ひと棚（関連する棚に分散）

（高等教育機関などと連携し、各専門分野に関する選書棚）

本のまち棚

（本に関するテーマ「読む」「書く」や「書店」「図書館」などに関する書籍）

三浦哲郎コーナー

（三浦哲郎著書のほか、自費出版を含む八戸の人が書いた本を紹介するコーナー）

雑貨・雑誌コーナー（六日町側に移動・新設）

（トートバックなどのオリジナル雑貨、ブックカバーやしおり等の本にまつわるグッズ、ギャラリー展関連グッズのほか、本にまつわる雑誌のコーナー）

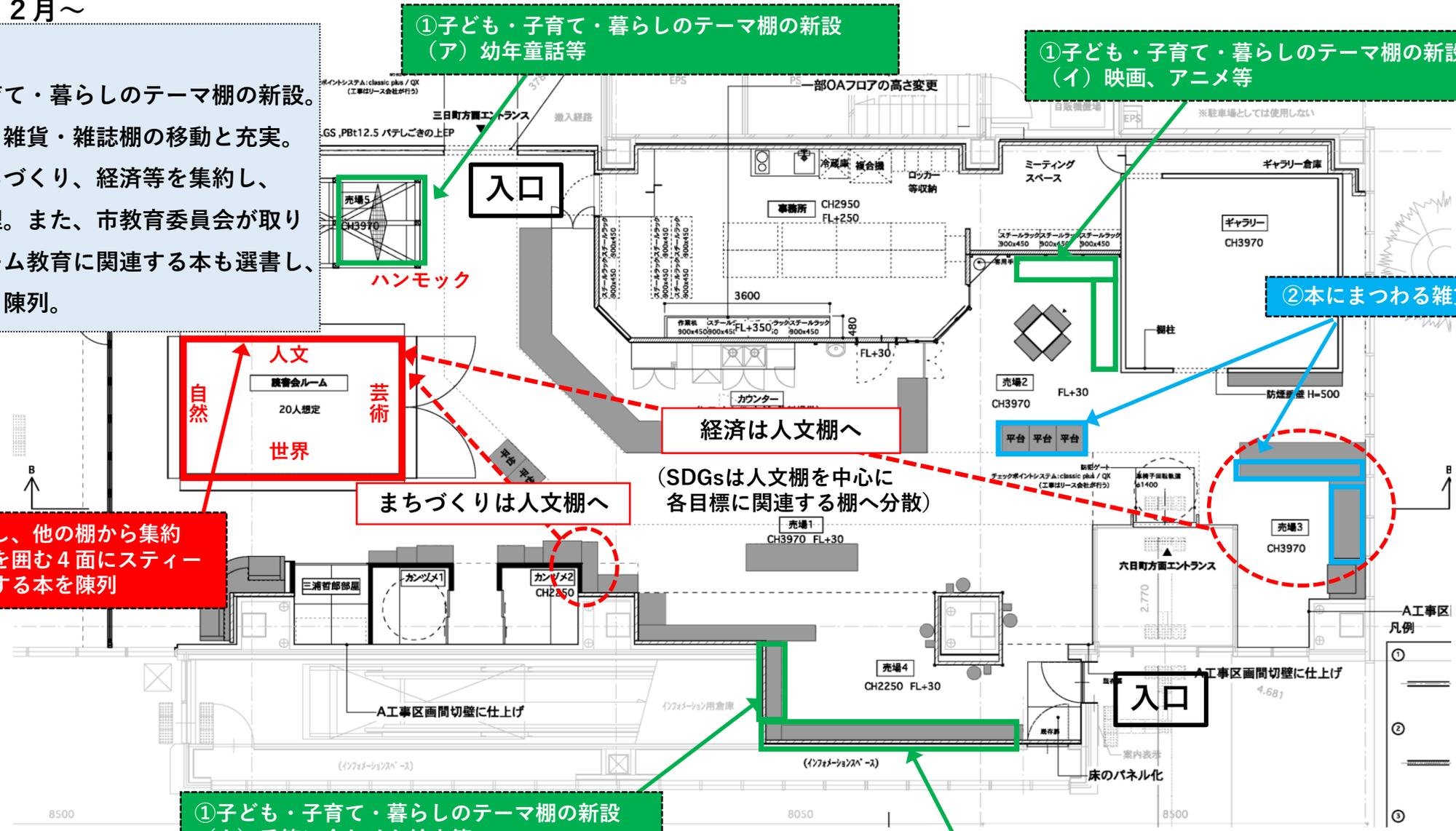
# 八戸ブックセンター書棚陳列変更について ※令和5年12月～

- ▶ポイント
- ①子ども・子育て・暮らしのテーマ棚の新設。
  - ②本にまつわる雑貨・雑誌棚の移動と充実。
  - ③人文棚にまちづくり、経済等を集約し、人文棚を整理。また、市教育委員会が取り組むSTEAM教育に関連する本も選書し、分かりやすく陳列。

- ③人文棚を整理し、他の棚から集約  
※読書会ルームを囲む4面にSTEAM教育と関連する本を陳列

花小路側

六日町側



①子ども・子育て・暮らしのテーマ棚の新設  
(ア) 幼年童話等

①子ども・子育て・暮らしのテーマ棚の新設  
(イ) 映画、アニメ等

②本にまつわる雑貨・雑誌の充実

経済は人文棚へ

まちづくりは人文棚へ

(SDGsは人文棚を中心に  
各目標に関連する棚へ分散)

①子ども・子育て・暮らしのテーマ棚の新設  
(ウ) 季節に合わせた絵本等

①子ども・子育て・暮らしのテーマ棚の新設  
(エ) 子育て・暮らし (上2段)、絵本・知育 (下3段)

※記載している以外でもテーマに合わせた移動あり。

第80回国民スポーツ大会及び第25回全国障害者スポーツ大会等  
 における八戸市開催競技の概要について

1 第80回国民スポーツ大会開催概要

(1) 冬季大会

：会期 令和8年1月31日～2月8日（9日間）

競技名	種別	競技日程	競技会場名
スピードスケート	全種別	2月5日～2月8日	YSアリーナ八戸
フィギュアスケート	全種別	1月31日～2月3日	FLAT HACHINOHE
アイスホッケー	全種別	2月4日～2月8日	テクノルアイスパーク八戸 FLAT HACHINOHE ※三沢アイスアリーナ

(2) 本大会

：会期 令和8年10月10日～20日（11日間）

競技名	種別	競技日程	競技会場名
サッカー	少年男子	10月10日～14日	プライフーズスタジアム 東運動公園陸上競技場 南郷陸上競技場
バスケットボール	成年男子	10月15日～18日	東体育館
レスリング	全種別	10月12日～15日	FLAT HACHINOHE
自転車 (トラックレース)	全種別	10月12日～15日	八戸自転車競技場
ソフトボール	成年男子	10月17日～19日	長根公園野球場 東運動公園野球場
ラグビーフットボール (7人制)	成年男子 女子	10月16日～19日	プライフーズスタジアム
ボウリング	全種別	10月12日～16日	ゆりの木ボウル

(3) デモンストレーションスポーツ（予定）

競技名	競技日程	競技会場名
空道	令和6年度に決定する予定	YSアリーナ八戸

※おいらせ町（いちよう公園体育館）から変更予定

2 第25回全国障害者スポーツ大会開催概要

：会期 令和8年10月23日～26日（4日間）

競技名	競技日程	競技会場名
サッカー（知的）	令和6年度に決定する予定	プライフーズスタジアム 多賀多目的運動場人工芝球技場
フットソフトボール（知的）		新井田公園多目的広場

3 第80回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催概要（案）

（1）サッカー

大会名	第61回全国社会人サッカー選手権大会
競技日程	令和7年10月を予定
競技会場名	プライフーズスタジアム 東運動公園陸上競技場 南郷陸上競技場

（2）レスリング

大会名	令和7年度第71回東北高等学校レスリング選手権大会
競技日程	令和7年6月を予定
競技会場名	FLAT HACHINOHE

（3）自転車（トラックレース）

大会名	第60回都道府県対抗自転車競技大会
競技日程	令和7年9月を予定
競技会場名	八戸自転車競技場

（4）ボウリング

大会名	内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯 第54回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会
競技日程	令和7年9月～11月を予定
競技会場名	ゆりの木ボウル

## 長根屋内スケート場の取組について

### 1 国際大会について

大会名	2023/24ISU ジュニアワールドカップ スピードスケート競技大会	2024ISU 世界ジュニアスピードスケート 選手権大会
開催期日	令和6年2月3日(土)~4日(日)	令和6年2月9日(金)~11日(日)
主催	国際スケート連盟	
対象選手	ジュニア 15歳から19歳 (平成16年7月1日以降 平成20年6月30日以前生まれの者) ネオシニア 19歳から23歳 (平成12年7月1日以降 平成16年6月30日以前生まれの者)	ジュニア 15歳から19歳 (平成16年7月1日以降 平成20年6月30日以前生まれの者)
参加国	26カ国(予定)	22カ国(予定)
競技種目	女子 500m、1000m、1500m、 3000m、マススタート、 チームスプリント (6種目)  男子 500m、1000m、1500m、 3000m、マススタート、 チームスプリント (6種目)	女子 500m、1000m、1500m、 3000m、マススタート、 チームパシュート、 チームスプリント (7種目)  男子 500m、1000m、1500m、 5000m、マススタート、 チームパシュート、 チームスプリント (7種目)
入場料	無料	
その他	日本での開催は平成26年苫小牧 大会以来4回目	日本での開催は平成24年帯広大会 以来4回目

## 2 第47回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会について

- (1) 開催期日 令和6年1月12日(金)～14日(日)
- (2) 主催 (公財)日本スケート連盟
- (3) 共催 八戸市
- (4) 対象選手 ジュニア選手 15歳から19歳  
(平成16年7月1日以降 平成20年6月30日以前生まれの者)
- (5) 競技種目 女子 500m、1000m、1500m、3000m、マススタート、  
チームパシュート、チームスプリント (7種目)  
男子 500m、1000m、1500m、5000m、マススタート、  
チームパシュート、チームスプリント (7種目)
- (6) 入場料 無料
- (7) その他 本競技会の成績は、次の国際競技会への派遣選手選考の対象となる。  
・2023/24ISU ジュニアワールドカップスピードスケート競技大会  
・2024ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会

## 3 合宿について

令和5年7月～11月

合宿期間	7-9月	10-11月	7-11月(計)
団体数	67 団体	29 団体	75 団体
延べ人数	7,728 人	3,742 人	11,470 人
宿泊施設数	25 施設	7 施設	25 施設